

バス光見えず

GOTO 少人数中心

止まったまま

「我慢も限界にきている」。東京都町田市にある貸し切りバス会社「プリンシプル自動車」の関谷千浩常務は、3月頃から本社に止まったままの何台もの大型バスを見て、肩を落とした。

2007年設立の同社は、都内と神奈川県内、団体旅行や学校の合宿の送迎などを扱う。今年1月頃までは、50台のバスがフル稼働していたが、感染が拡大した2月頃から団体旅行が減り、3月以降は売り上げが大幅に落ち込んだ。売り上げが前年の1割に満たない月もあり、東京五輪・パラリンピックを見据えて3年前に川崎市につくった営業所も休止状態という。国交省によると、7月22日から始まったトラベル事

業は、8月末までに約1339万人が利用し、宿泊施設を中心に客足が戻りつつある。一方で、感染への懸念から団体旅行での利用は

少ない。

今月から東京発着の旅行が追加された効果も団体旅行にはまだ表れておらず、関谷常務は「感染対策を徹底しているが、厳しい状況が続く。企業送迎に力を入れるなど工夫を凝らして頑張るしかない」と語った。

安全性PR

約4100社（2018年度）にのぼる貸し切りバス事業者は、新型コロナウイルスの感染拡大で大打撃を受けた。

国交省が事業者に実施したアンケート調査によると、保有するバスのうち、何台が稼働しているかを示す「バス実働率」は3〜6月、5・7〜11・6%と低かった。トラベル事業が実施された7月以降も苦境は続き、7月は12・1%、8月も11%にとどまった。

新型コロナウイルスの影響による貸し切りバス事業の廃止は2〜8月で計50件。東京商工リサーチによると、コロナによる事業者の倒産は5件にのぼった。

日本バス協会などは、車内の空気が約5分で入れ替わることなど安全性をPRしている。石指雅啓理事長は「当初、貸し切りバスで感染者が出たことや、団体旅行を自粛する雰囲気があり、利用は落ち込んだままだ。ハイシーズンの秋に回復傾向が見えなければ、廃業が一気に増えるかもしれない」と懸念する。

国も支援へ

工夫で経営難を乗り切ろうという動きもある。

成田空港の利用客をメインに貸し切りバス事業を展開する「東関東交通」（千葉県成田市）は6月から、少

人数旅行をターゲットに、定員5人のワゴン車によるツアーを企画する。3〜8月の売り上げが前年から約9割減る中で、月約10件の利用があり、家族旅行に使用した利用者には「身内だけなので気兼ねなく旅行できる」などと好評だという。

大阪府堺市の「SSツアーズ」は地元自治会と契約し、高齢者の買い物支援策として、ショッピングモールなどを巡るチャーターバスの運行を8月から始めた。高木克夫社長は「利用者は顔見知りが多く、

安心してもらえる。利益は少ないが何もやらないよりはましだ」と語る。

国交省は、トラベル事業での団体旅行への補助分を予算枠として確保し、団体旅行の促進につなげる方針だ。

企業の社員らの送迎を請け負った貸し切りバス事業者には、公共交通機関の密回避を図れるとして、運行費用などを補助することも決めた。同省幹部は「貸し切りバス事業は正念場にある。しっかりと支援していく」としている。

陸自女性隊員27人感染

陸上自衛隊の朝霞駐屯地（東京都、埼玉県）での教育課程に参加した20歳代の女性隊員27人が、新型コロナウイルスに感染したことがわかった。いずれも軽症か無症状で、医療施設に入院するなどしている。

陸自などによると、27人は東京都や沖縄県など16都道府県の駐屯地に所属して

おり、7〜9月下旬に朝霞駐屯地で行われた教育課程に参加。座学や射撃などの訓練を行い、朝霞駐屯地内の隊舎で寝泊まりしていた。各駐屯地に戻った後、感染が判明したという。

教育課程には約200人が参加しており、さらに感染者が増える可能性がある。

ロッテ岩下投手も

プロ野球の千葉ロッテマリーンズ投手の岩下大輔投手も、7月22日の起床時の検温とともに

を踏まえて判断する。

球団によると、2人は4日の起床時の検温とともに



多くの貸し切りバスが止まっていた東京タワーの駐車場には、今もバスが戻っていない（3日、東京都港区で）

売り上げ1割「限界」